

令和6年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」  
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	廃食油焚ボイラシステム
製品種別	システム
型番	K-1000TY（廃食油焚ボイラ）／HC-050（高速遠心分離機）／RT-200（リザーブタンク）
会社名	株式会社IHI汎用ボイラ
本社所在地	東京都中央区晴海三丁目12番1号
会社WEBページURL	<a href="http://www.ibk-ihl.co.jp/">http://www.ibk-ihl.co.jp/</a>
製品紹介ページURL	<a href="http://www.ibk-ihl.co.jp/products/boiler/k-series/waste-cooking_oil/index.html">http://www.ibk-ihl.co.jp/products/boiler/k-series/waste-cooking_oil/index.html</a>

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	株式会社IHI汎用ボイラ 業務部 嘉悦 毅 東京都中央区晴海三丁目12番1号 TEL：03-6629-9325
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	蒸気発生プロセス		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	-80.0	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	-6.6	%	
導入事例における費用対効果（年間）	-24.2	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	33,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	1,100,000	円/年	

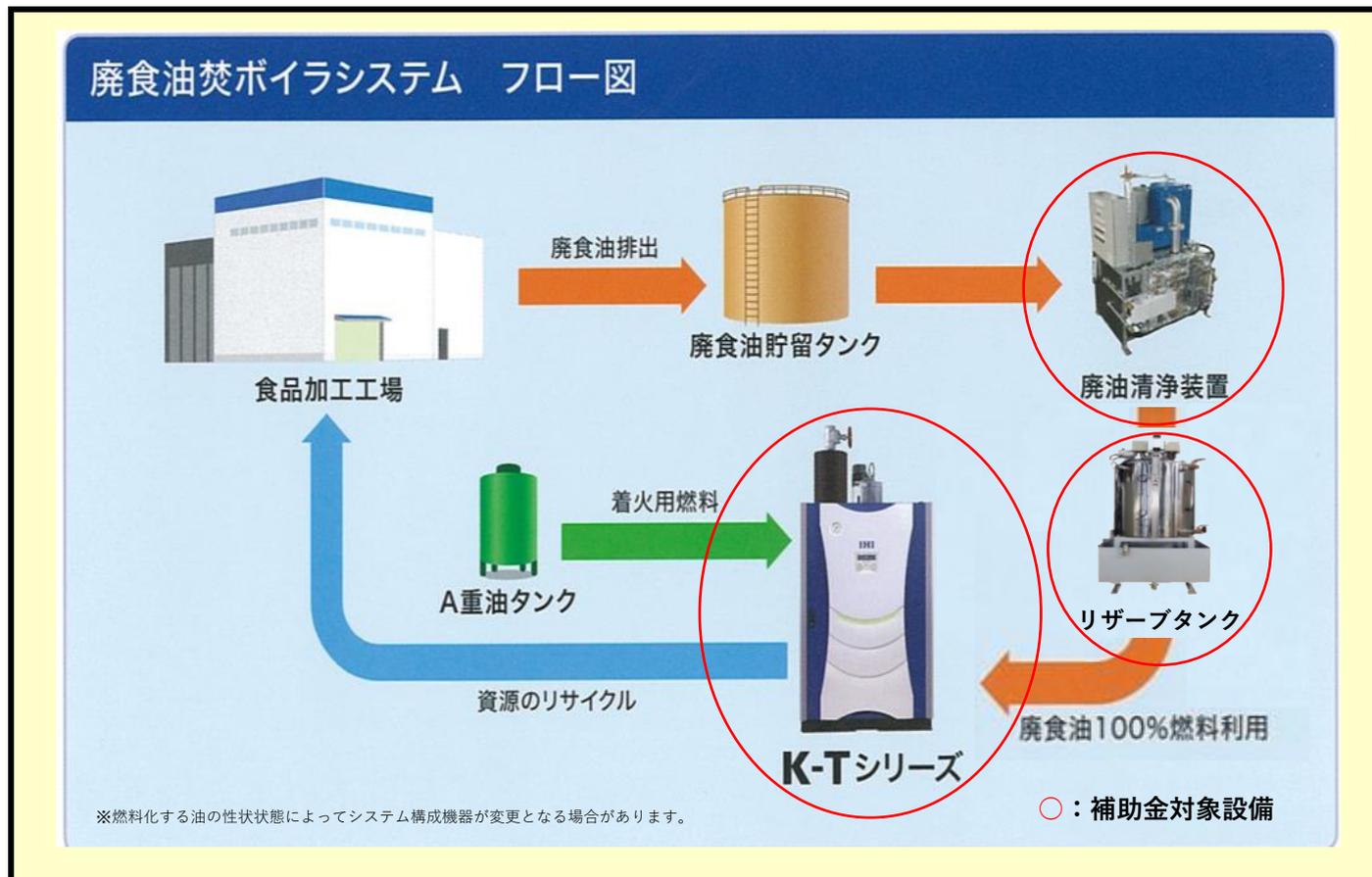
製品・システムの概要

本ボイラシステムの主設備である廃食油焚ボイラは、従来の油焚小型貫流ボイラでは100%専焼が不可能であった重質動植物油を、独自のバーナを使用することにより100%専焼で油焚小型貫流ボイラの燃料として利用することが可能となりました。  
化石燃料を使用している既設ボイラを本システムに置き換えることにより、化石燃料使用量の削減が可能となり、非化石エネルギーへの転換を促進し、非化石エネルギー利用割合の向上に大きく寄与することが可能となります。

先進性についての説明

本ボイラシステムの廃食油焚ボイラに採用した独自バーナにより、重質動植物油とコンプレッサの高圧エアを同時に噴霧することで高引火点且つ高粘度の重質動植物油を燃焼可能レベルまで細分化することが可能です。  
さらに、独自改良を加えた高速遠心分離機を使用した廃油洗浄装置を採用することにより、重質動植物油に混入した残渣物の分離性能を向上させ、システムの安定運用を実現しました。  
これにより、従来は大型ボイラ設備等を保有する企業でしかボイラ用燃料として利活用できませんでしたが、中小規模の企業においてもメリットが得られるシステムとなっています。

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	食品製造業	対象設備・プロセス	蒸気ボイラ
<p><b>【ご参考】</b>                      本システム販売開始に関するプレスリリース内容  <a href="https://www.ihl.co.jp/all_news/2019/industrial_general_machine/1190462_1593.html">https://www.ihl.co.jp/all_news/2019/industrial_general_machine/1190462_1593.html</a></p> <p><b>【導入施設】</b>                      食品加工工場</p> <p><b>【導入した内容】</b>                      既存A重油焚小型貫流ボイラ×2台                      上記に加え、本システム1式を更新                      ※燃料となるダーク油（重質動植物油）発生量全量を燃料として本システムを運用し、不足する蒸気負荷に関しては既存A重油焚ボイラを稼働させ対応している。</p>			